

いのちの言の葉2013

富山県教育委員会平成25年度いのちの教育総合支援事業

「命の授業」

南砺市立福光東部小学校
平成25年9月25日実施

【授業の概要】

夢に向かって
—バリアフリーから心のバリアフリーへ—

【いのちの先生】

大森 永遠先生

・車いすバスケットボール

(母より)

みんな命は一つですが、その一つの命で、時には何人もの人の命を救うことができます。献血や移植をすることで、大勢の人の命が助かります。病気やけがをして初めて命のありがたさを感じます。命を大切に、生きて下さい。そして、幸せな家庭を築いてほしいと思っています。交通事故に気をつけて自分の命を守って下さい。

(児童の感想)

私の命は一つで一個しかありません。お母さんが私を産んでなかったら、この世には生まれてなかったと思います。この一つの命をせいいっぱい生きていきたいです。人は命のつながりで未来へつないでいくのだと思います。私は今、勉強などをして将来につなげていき、やさしい心でお仕事や人にせっついていきたいと思っています



(児童の感想)

ぼくは、大森さんの話を聞いて命の大切さを感じました。なぜなら命が無ければ今をこうして生きていない、命があるからこそ毎日楽しく生きていける。ちょっといやな事もあるけど、楽しく過ごせている。でもそれは、友達や家族がいるからこそだと思う。なぜなら、人は一人ではなかなか生きていけないけれど、みんなと助け合って生きていると感じるからです。この毎日が楽しいです。この命を大切にしていきたいと思っています。

(保護者より)

テレビの報道などで、突然亡くなられた人や災害にあわれた人の話を見たり聞いたりすると、自分だったら…、家族だったら…、と考えると、とてもせつなくなります。今、元気でいられる事が当たり前となっていますから、障害のある大森さんの話を聞いて、自分の命の大切さや自分の周りすべての人とのかかわり方の大切さを学んだと思います。その気持ちを忘れずに、これからも頑張ってください。